

山桜の里 戸赤

大内の観光客500人に



(株)会津鉄道、下郷町観光協会、下郷町商工会の協力で実施

「花豆パイ」でおもてなし



パイの形を花豆に似せかけ、花豆を表面に表してはどうか?等の提案もお客様から寄せられた

花豆パイを来訪客に手渡しでおもてなしするイベントに戸赤の花豆生産者が2日間て延べ十一人参加しました。パイを配り喜んでいただき商品の感想を聞くことができました。



2日間で大型バス15台500人に花豆パイをプレゼント

旅行来訪者に地元特産をPRし地域振興をはかるため県の補助を受けて行われた



11月10, 11日大内駐車で埼玉、茨城、仙台発のバスを出迎えた



花豆栽培講習会



クラブ、リズム一行、白へ策、野上、塔の散湯、岩つりなど

ことしの花豆集荷が終わり二回併せて三百五十kgが集まりました。小豆など含めると豆類全部で二百九十三・七kgとなりました。村全体での集荷は一区切りですが、手持ちのもの出荷希望者は区長まで連絡願

地場産品としての原料確保

11月14日第2回目の集荷で花豆193kgが集まり、1回目と併せると全部で350kgとなった

隠れ庵のような木地工房 木地工房は刈林さくら会サロンの二十数人、木地挽き常連仲間のソバ会二十人弱、槽小三十五人の体験などです。ますますの人気。ホットする気分も味わえる隠れ庵かも。

られています。花豆パイは地元土産の代り表格になる可能性があるとわれわれ始めています。その原料を安定供給することこそが地域特産を根づかせる力です。又更に新たな商品開発へつながるかもしれません。

の勉強が求められ、一層の産地づくりのため、し良質で多収穫の産地づくりの

います。個別対応します。おみやぎん以外に出荷した分も併せた収量と、全体の栽培面積を把握



11月11日木地仲間20人近くがソバ会



10月10日刈林さくら会30数人が昼食会で楽しんだ

【木の学習No.25】近世前期を貞享年間までとして前述したので、中期を元禄元(1688)年から安永九(1780)年までの九二年間に存在した木地小屋について考察してみよう。『新編会津風土記』は文化六(1809)年に完成をみたのであるがこの中の記述より近世中期の木地小屋の所在が確認できるものがあるので抜き出してみる。①達沢「享保三年松原村雄子沢小屋より爰に移れり」②高森「享保三年松原村小野川より此所に移る」③木地小屋村「元龜二年松原村より備後、縫殿助と云木地挽二人来て其業なす、後田圃をひらき一村となれり」④原小屋「明曆中五目組日中村の木地小屋より移れり」⑤戸倉小屋「万次中本村(松原)より移れり」⑥雄子沢「万次三年木曾組一戸村より移る」⑦細野「安永四年小田付組入田付村中小屋と云所よりここに移る」⑧材林沢「寛文の頃此地に移れり」⑨東入「宝曆中野尻組小野川村の境内より此地に来ると云」⑩梅木平「安永九年陸奥国可召郡海道組実川村の山中天沼と云所より移りしと云」①～③は猪苗代町、④～⑦は北塩原村、⑧は山都町川入、⑨は会津高田町東尾岐、⑩は新潟県東蒲原郡鹿瀬町である。(会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より) (つづく)

戸赤にあるものって何だろう。「自然・それは、いつでも。歴史・その中身はなに。風俗・それは暮らしのどんなところ。人・どんな気持ちを伝えるの…」私たちの身近にあるものが、実は宝ものなのかもしれない。

村の宝ものNo.1 [24.11.4撮影]



一本木回漕 「小学校の頃」こまヤシメを取ったつば。しももいるかな。(60歳談)

学校・集会所等

雪囲い作業と 収穫祭 11・25(日) 午前10時

作業終わり次第
収穫祭

者らが同地区の句の味覚を満喫した。
長寿の水保存会(渡部正代表)の主催。長寿の水を生かした同地区の活性化を目的に開催した。
郷土料理のしんごろうや焼き芋などを振る舞ったほか、ダイコンなどの農産物やキノコ販売を行った。また、下郷町着地型ツアーリズム推進事業実行委員会が同日実施した、愛と絆ツアー



しんごろうを味わう
来場者たち

しんごろう振る舞う
下郷・長寿の水祭り
下郷町倉水地区の「長寿の水 秋祭り」は27、28の両日、同所で行われ、来場

民友新聞に長寿の水祭り(倉水)が掲載

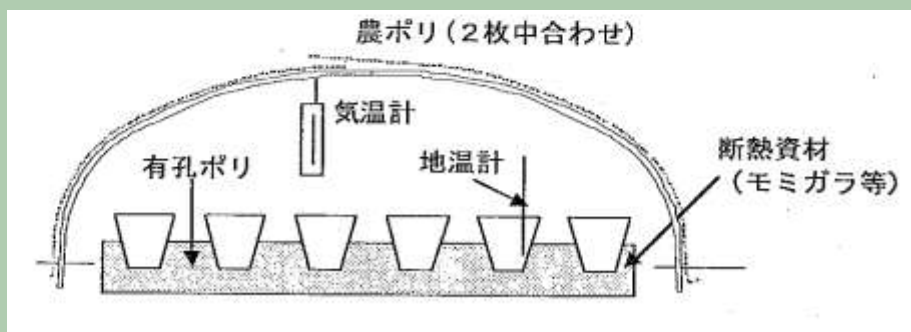
花豆関連での
村づくり活動について
JAしらかわの
集落営農
セミナーから
紹介してほしいとの要請
検討中

日時・12月1日
(土)13:30~16:00、
場所・JAしらかわ
セレモニーホール、
要請内容・組織の取
り組み概要と経過、
商品開発のきっかけ
と経過、今後の展望、
地域コミュニティー
維持の秘訣など。

人気広がる花豆パイ

食べた人(東京)から、おいしいので送ってほしいと実行委員会に電話があるなど、人気広がっています。

(花豆の学習[No24])花豆(ベニバナインゲン)の栽培 育苗床の作成例



(南会津農林事務所農業振興普及部資料から) つづく

「ウオーク」の参加者らが同所を訪れ、伝統料理や流しソーメンなどを楽しんだ。